



令和元年5月16日(木) 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
博物館	人文係	南本有紀	代表 0575-28-3111 内線 302 FAX 0575-28-3110

岐阜県博物館特別展

けんのせいれいはっこうをつらぬく

「剣精靈貫白虹 幕末美濃の剣豪と名刀」

を開催します

岐阜県博物館では、今夏、幕末をテーマに、刀剣と激動の歴史群像を取り上げた特別展を開催します。とくに、美濃の剣豪・横倉喜三次(1824-94)を大きく取り上げます。横倉(揖斐川、以下人名後の()内は関係地)は新選組局長・近藤勇の処刑にあたった人物です。敵味方に分かれてましたが、維新後、近藤の法要を営むなどし、武術の達人として明治半ばまで活躍しました。

今回の展示では、近藤を斬首した「脇指 銘 二王」(二王清綱)など横倉家資料をはじめ、大垣藩を官軍側に導いた小原鉄心(大垣)、新選組・赤報隊に参加した博徒・水野弥太郎(岐阜)、江戸無血開城に奔走した山岡鉄舟(高山)、井上馨の命を救った所郁太郎(大垣・大野)、新選組の生き残り・島田魁(岐阜)等々、有名無名の志士・勤王家たちを取り上げます。

併せて、幕末の名工・源清磨、美濃出身の清磨門・源正雄、美濃刀工の雄・藤原永貞などの作刀による同時代の新々刀も多数展示し、歴史資料とともに幕末維新動乱期の息吹を感じられる必見の展覧会となっています。ぜひ、ご来場ください。



横倉喜三次所持 星兜文鑄 銘 信家(横倉家寄贈・岐阜県博物館蔵)

※特別展のタイトルは、棚橋天籟(揖斐川)が横倉の剣技を嘆賞した漢詩「劍賛詩」(我有昆吾劍精靈貫白虹 こんごのけんのせいれい はっこうをつらぬくは われにあり/匣蔵無事久夜々叫英雄 ぶじにこうぞうすることひさしく よよえいゆうをよぶ)より取り、大意は、「横倉喜三次の優れた剣技によって幕末の兵乱は払われた。今はその愛刀も無事に箱に仕舞いこまれて久しく、夜ごとかつての英雄(喜三次)を呼んでいる。」です。

- 1 会 期 令和元年7月12日(金)～9月8日(日) 9:00～16:30 ※入館は16:00まで
- 2 会 場 岐阜県博物館 本館4階 特別展示室 (岐阜県関市小屋名1989)
- 3 入 館 料 一般600(520)円、大学生300(200)円、高校生以下無料
※()内は20名以上の団体料金
- 4 主 催 岐阜県博物館、中日新聞社
- 5 後 援 NHK岐阜放送局、岐阜県教育委員会
- 6 協 力 公益財団法人 霊山顕彰会
- 7 休 館 日 毎週月曜日(月曜日が祝日または振替休日の場合は、その翌平日)
- 8 問 い 合 せ 先 岐阜県博物館(電話0575-28-3111(代))

9 展示構成

- (1) 横倉喜三次よこくらきそうじと近藤勇いさみの死
- ① 近藤勇の死 (近藤勇の人となり)
- ② 美濃の剣豪・横倉喜三次 (剣豪・喜三次、相楽総三さがらそうぞう処刑、近藤勇処刑)
- 【展示物】 脇指 銘 二王 ※二王清綱 (横倉家寄贈・当館蔵)
棚橋天籟たなはしてんらい「劍賛詩」 (揖斐川歴史民俗資料館蔵)
近藤勇首実検唱文 (横倉家寄贈・当館蔵)
- (2) 美濃の幕末群像 無銘の先覚者たち
- ① 導入：幕末の美濃 (島崎藤村「夜明け前」、江馬修えまなかし「山の民」など)
- ② 勤王の志士そうもうと草莽の微臣やながわせいがん (その1) (梁川星巖おはらてっしん、小原鉄心)
- ③ 往来する擾乱の兆し：幕末の中山道 (和宮降嫁かずのみや、浪士組てんぐ、天狗党せきほう、赤報隊)
- 【展示物】 武田耕雲齋贈・棚橋天籟所用・短刀 (揖斐川歴史民俗資料館蔵)
一心流鈴木長七郎奉納額 (洲原神社蔵)
- ④ 勤王の志士と草莽の微臣 (その2) (西山謙之助にしやまけんすけ、所郁太郎ところいくたろう、田口俊平たぐちしゅんぺい)
- 【展示物】 所郁太郎所用・刀 (霊山歴史館寄託・長屋家文庫蔵)
- ⑤ 誠忠の行方 (その1)：攘夷倒幕 (尾張藩正気隊、大垣藩など)
- ⑥ 江戸無血開城 (山岡鉄舟：人、書、劍)
- 【展示物】 山岡鉄舟所用・刀 銘 家吉 (金沢市立玉川図書館蔵)
- ※期間限定 (7月12日(金)～8月25日(日)を予定)
- ⑦ 誠忠の行方 (その2)：佐幕開国 (高須藩、新選組、竹中重固、加藤平内、凌霜隊)
- ⑧ 剣術の復権 (撃剣会など)
- (3) 幕末新々刀の名刀：清磨きよまろと山浦一門やまうら、水心子正秀すいしんしまさひで、泰龍齋宗寛たいりゅうさいそうかん
山浦一門：源清磨、栗原信秀、源正雄 (鈴木次郎 美濃出身)
美濃刀工：藤原永貞 (御勝山永貞)、藤原兼次、藤原兼忠
その他：会津十一代兼定、固山宗次

10 関連イベント ★は要申し込み (電話・HP)

- (1) 講演会「美濃の幕末群像」★ 定員 120 人
講師 あさくら ゆう (歴史研究家)
日時・会場 7月20日(土) 13:30～15:00・けんぱくホール
- (2) 無双直伝英信流 演武 ★ 定員 60 人
講師 岩田 巖いわた いわお (全日本居合道連盟 師範・十段)
日時・会場 8月4日(日) 13:30～14:30・講堂
- (3) 講演会「刀剣鑑賞と博物館展示」★ 定員 120 人
講師 末兼 俊彦すえかね としひこ (京都国立博物館研究員)
日時・会場 8月10日(土) 13:30～15:00・けんぱくホール
- (4) 刀匠による銘切実現 オリジナルキーホルダーを手に入れよう
講師 関伝日本刀鍛錬技術保存会・刀匠会
日時・会場 8月16日(金) 10:00～12:00/13:00～15:00 (時間中随時)・講堂
料金 2,160円/個 (税込み)